

～国東市安岐町～荒木川流域プロジェクト【有機農業講座】～

「自然農」学びの会《田植え》研修会 in 三角ベース 有機水田

\* 実施日時：2019年6月14日（土）9時～12時

\* 講師：村山直通氏（松国自然農学びの場代表・花畑自然農塾代表）

国東市安岐町馬渡の荒木川源流域にある三角ベースさんの復活有機水田で、自然農の田植えをしました。4月に自然農講座で講師をお願いした村山さんに来ていただき、4月に種降ろしをした苗床の成長した稲苗を、みんなで田んぼに植えました。田んぼは、周囲に水を溜めた溝を掘りめぐらし、乾田で浮島のようになっていて、その乾いた田んぼに、移植ゴテで穴を掘り、苗を植えていきました。今まで経験した田植えとは全く違い、みんな一生懸命、穴掘り作業？をした田植えでした。

四月に「種降ろし」をした苗床で育った苗



移植ゴテで穴を掘り苗を植えた「田植え」



～国東市～荒木川流域プロジェクト～ 【荒木川の生きもの保全研修会】

荒木川・安岐川河口に奇跡的に残っているハマボウフウの再生をめざす学習会

\* 講師：永松 勝也氏（大分県立国東高等学校 教諭）  
矢野 忠則氏（NPO 法人 おくすり研究会 代表）

\* 実施日時：2019年7月13日（土）10時～12時

\* 室内学習：里の駅「ふるさと市場R213」 \* 野外実習：荒木川・安岐川河口の海岸

国東市安岐町の荒木川は、河口で安岐川と合流して別府湾へ流れています。その河口には、かつては広い海岸が広がり、今では貴重な植物『ハマボウフウ』もたくさんありました。しかし、近年の開発・護岸工事などで、荒木川河口だけでなく、日本中の「ハマボウフウ」は激減し、保全をしなければ絶滅してしまう危機に瀕している植物になってしまいました。

この『ハマボウフウ』には、薬効があり、漢方薬、のど飴、入浴剤などに使われています。今回の学習会では、おくすり研究会の矢野先生に「ハマボウフウの薬効」について、そして長年ハマボウフウの保全活動をされている、国東高校の永松先生に「ハマボウフウの保全」についてお話していただき、小雨の中でしたが、海岸に行き、実際にハマボウフウを観察し、花の咲き終わった株から、繁殖栽培のために種を採取しました。

次の学習会では、保存したその種を再び海岸に蒔き、さらに大きな株に育てるよう、施肥も実施する予定です。

室内学習会の様子



野外学習会の様子

